

川辺ふるさとビオトープ

この公園は、真備町が定めた「全町緑化公園基本構想」を進めるなかでひとつの施策として、平成12年度から平成13年度の2ヶ年度で設計・工事を行い整備した。

公園用地として、神殿用水組合の協力をいただき、用水ため池（通称新田堀）の敷地を借り受け、用水機能も残しながら親水公園として一体的整備を行った。

全体面積約3100m²をおおむね3等分して別々の機能を持たせている。

一つ目は「用水機能」で、二つ目は、川辺地区に数多く生息するレッドデータブックの絶滅危惧種であるダルマガエル等水辺生物の生息も視野に入れた、水生動植物のための環境を保つ「自然環境機能」である。

三つ目は前記二つの機能の間にあつたため池の水・魚や景観を周囲を巡って楽しんだり、水生動植物の観察などを通して自然と人間がふれあう「楽しみ・ふれあい機能」である。



所在地	岡山県吉備郡真備町大字川辺
関係する施設など	横溝正史の疎開宅、山陽街道一里塚、岡田大池弁財天、ふるさと歴史館
イベント	6月頃「ダルマガエル観察会」